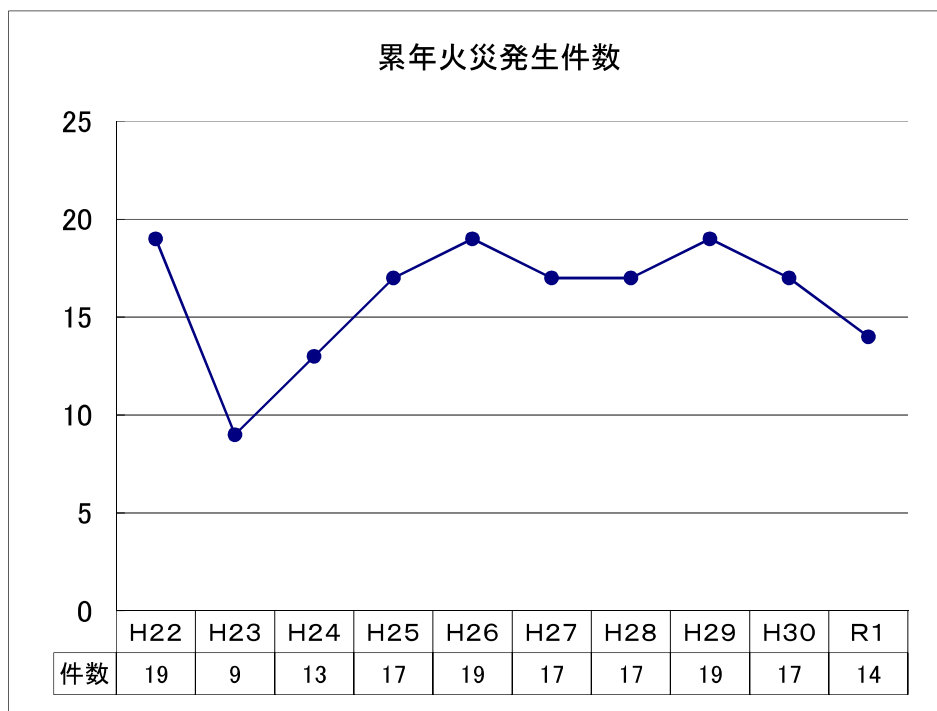


# ■ 警防編 ■

令和元年中の火災件数は、14件でした。

複雑多様化する社会情勢、ますます進展する高齢化社会の中、消防警備体制を充実強化することで種々の災害事象に適確に対応し、市民ニーズに答えられるよう努めています。





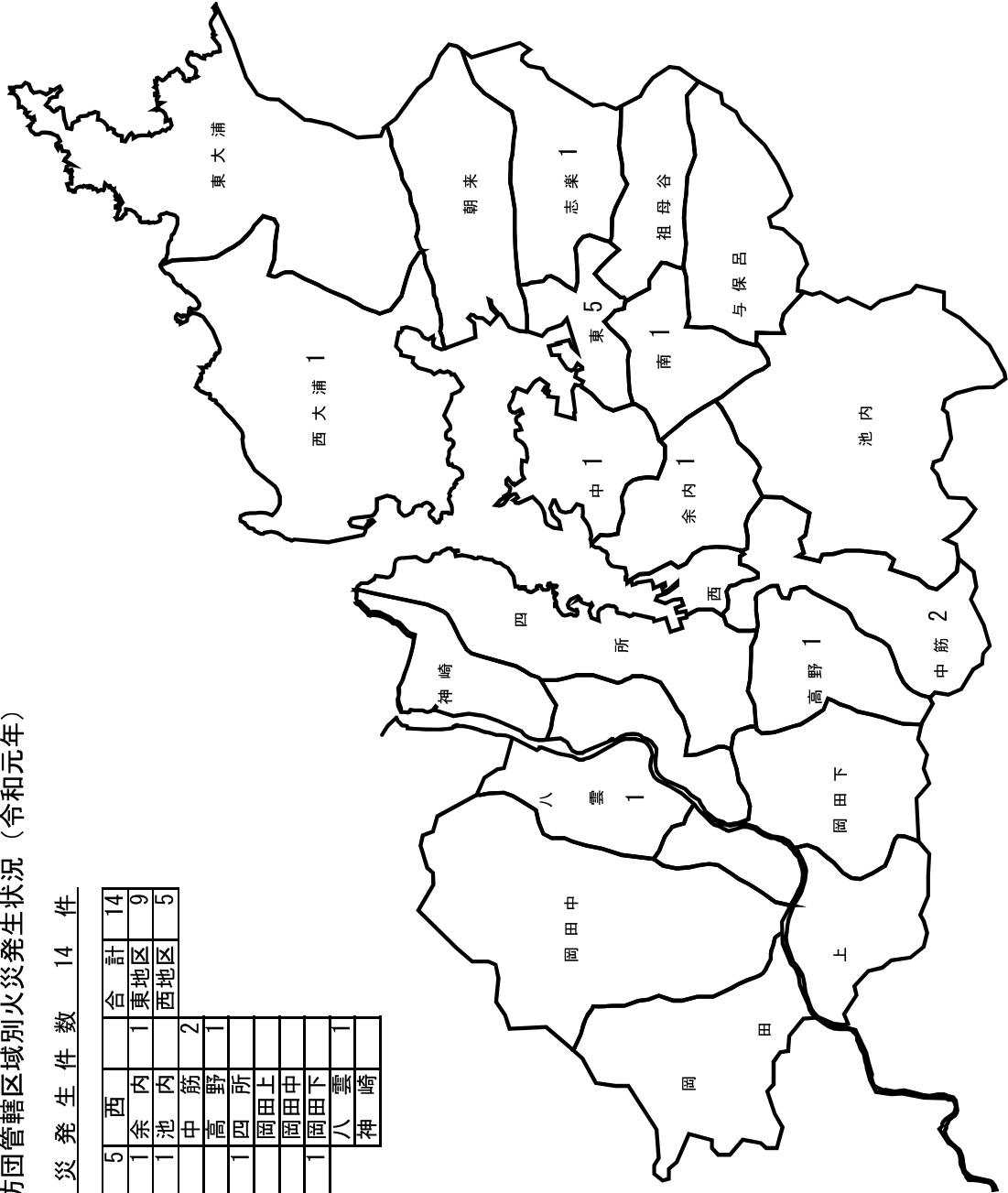
■ 火災概況・累年比較

種別	年別	27年	28年	29年	30年	R1年	前年比較 (△減)	平均
	出火件数	計	17	17	19	17	14	△ 3
出火件数	建物火災	12	11	14	11	11		11.8
	うち住宅火災	4	7	10	6	10	4	7.4
	林野火災	1		1	1		△ 1	0.8
	車両火災	2	4	3				1.8
	船舶火災					2	2	0.4
	その他の火災	2	2	1	5	1	△ 4	2.2
	焼損面積等	建物床面積 (㎡)	989	1,589	326	273	303	30
建物表面積 (㎡)		745	41	48	22	3	△ 19	171.8
林野 (a)		1		12	14		△ 14	6.8
車両火災 (台)		2	4	2				1.6
船舶 (艇)						2	2	0.4
その他 (㎡)			1	28	3,449		△ 3,449	869.5
焼損棟数	全焼	8	4	5	2	5	3	4.8
	半焼	1	3	1				1.0
	部分焼	5	4	5	2	1	△ 1	3.4
	ぼや	4	5	9	7	7		6.4
損害額 (千円)	建物	63,190	158,994	11,325	1,023	21,063	20,040	51,119.0
	林野							
	車両	208	342	15				113.0
	船舶							
	その他		14		17	1	△ 16	6.4
り災世帯	計	63,398	159,350	11,340	1,040	21,064	20,024	51,238.4
	全損	3	4	3		2	2	2.4
	半損		1					0.2
	小損	3	6	10	6	8	2	6.6
	り災人員	9	28	28	9	21	12	19.0
死傷者	死者	1	1	2		1	1	1.0
	負傷者	4	1	2	1	4	3	2.4
火災発生間隔 (日)		21.5	21.5	19.2	21.5	26.1	---	---
1件平均損害額 (千円)		3,729	9,374	597	61	1,505	1,444	---
1日平均損害額 (千円)		174	437	31	3	58	55	---
市民1世帯平均損害額 (円)		1,817	4,614	329	30	616	586	---
市民1人平均損害額 (円)		752	1,918	138	12	263	251	---

消防団管轄区域別火災発生状況（令和元年）

火災発生件数 14 件

東	5		合計	14
中	1	西	東地区	9
南	1	余内	西地区	5
与保呂		池内		
祖母谷		中筋		
志築	1	高野		
朝来		四所		
東大浦		岡田上		
西大浦	1	岡田中		
		岡田下		
		八雲		
		神		



■ 火災の発生状況（令和元年）

1 覚知別火災発生状況

覚知種別	合計	119	IP119	携帯119	加入電話	駆けつけ	事後聞知	その他
件数	14		1	4	1		8	

2 月別火災発生状況

月別	合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
件数	14	3		3	1			2	1		2	1	1

3 曜日別火災発生状況

曜日	合計	日	月	火	水	木	金	土
件数	14	2	2	5	3	1		1

4 天候別火災発生状況

天候別	合計	快晴	晴れ	くもり	雨	雪	その他
件数	14		5	6	3		

5 湿度別火災発生状況

湿度別(%)	合計	10~20	21~30	31~40	41~50	51~60	61~70	71~80	81~90	91以上
件数	14					3	3	1		7

6 気温別火災発生状況

温度別(°C)	合計	10以下	11~15	16~20	21~25	26~30	31以上
件数	14	6	3	1	1		3

7 覚知時間別火災発生状況

時間別	7~8	8~9	9~10	10~11	11~12	12~13
件数					1	1
時間別	13~14	14~15	15~16	16~17	17~18	18~19
件数		1		1		
時間別	19~20	20~21	21~22	22~23	23~24	0~1
件数			1			
時間別	1~2	2~3	3~4	4~5	5~6	6~7
件数				1		
事後聞知	8					

8 火災発生時の初期消火状況

合計	なし	あり				
		消火器	水バケツ	水槽	水道水をかけた	その他
14	5	1			6	2

## 過去5年間の主な出火原因

### ■ 過去5年間の主な出火原因

出火原因	年次別					計
	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	
たばこ		1		1	1	3
キッチン	2	1	4	2	3	12
かまど						
風呂かまど						
炉						
焼却炉	1					1
ストーブ	1		2		2	5
こたつ						
ポイラー						
煙突・煙道			1	1		2
排気管	1	1			1	3
電機機器			2	2		4
電気装置		1				1
電灯・電話等の配線					1	1
内燃機関						
配線器具	2				1	3
火あそび				1	1	2
マッチ・ライター						
たき火	1		2	3		6
溶接機・切断機	1				1	2
灯火			1			1
衝突の火花						
取灰			1	1		2
火入れ						
放火		1				1
放火の疑い		1		1		2
その他	5	4	2	4	1	16
不明・調査中	3	7	4	1	2	17
合計	17	17	19	17	14	84

### ■ 過去5年間の住宅火災における出火箇所と死者及び負傷者の発生状況

		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
出火箇所	居室	3	3	3	2	5
	台所・炊事場	1	1	4	1	1
	他の建物部分		2	3	3	3
	建物外周部		1			1
	不明・調査中					
住宅火災の件数		4	7	10	6	10
住宅火災による死者の数		1	1	2		1
住宅火災の負傷者		2	1	2	1	3

※ 他の建物部分とは、居室、台所を除く廊下、階段、洗面所、浴室、押入、玄関、ガレージ、物置、納戸等の他、空家、空室、工事中建物、ベランダ等をいいます。

■ 消防事故

事故種別 年別件数	焼損事故	爆発事故	漏洩流出事故	電気事故	燃焼放置事故	誤報事故	その他	合計
合計	1		22	3	1	22	111	160
1月			3	1		2	9	15
2月			2			1	8	11
3月			1			3	8	12
4月			1			1	8	10
5月			2			1	8	11
6月	1		2			1	6	10
7月			1			2	8	11
8月			5			6	8	19
9月					1	2	12	15
10月			1			1	15	17
11月			1	2			7	10
12月			3			2	14	19

■ 消防事故の発生件数（累年比較）

事故種別 年別件数	焼損事故	爆発事故	漏洩流出事故	電気事故	燃焼放置事故	誤報事故	その他	合計
平成27年	10		25		5	16	55	111
平成28年	6		16	2	1	10	107	142
平成29年		1	23	1	4	23	188	240
平成30年	6		26	3	1	23	254	313
令和元年	1		22	3	1	22	111	160

# 消防機械の現勢

## ■ 消防機械の現勢

令和2年4月1日現在

機 械 別 所 属 別	消は	化学	救	消水	消	水	ポ小	ポ小	小	高	指	原	合
	防は	学	助	防	防	槽	ン小	ン小	型	規	令	動	計
	ポン	消	工	ポン	ポン	車	付積	型搬	動力	格	車・	機	
	プし	防	作	プそ	プ	Ⅱ	動載	送動	ポン	救	広	付	
	ご	自	車	う	自	付	車力	車力	プ	急	報	自	
	付	動		付	動					車	車	転	計
	車	車		車	車							車	
常 備 計	1	2	1	1	5	1				5	11	5	32
非 常 備 計					18		8	10	63				99
合 計	1	2	1	1	23	1	8	10	63	5	11	5	131

## ■ 令和元年度導入車両

配置年月日 (登録年月日)	種 別
令和1年11月27日	小型動力ポンプ搬送車（軽四輪トラックタイプ）（四所消防団）
令和1年11月27日	小型動力ポンプ搬送車（軽四輪トラックタイプ）（八雲消防団）
令和2年2月26日	災害対応特殊救急自動車（東消防署）
令和2年3月25日	津波・大規模風水害対策車（消防本部）



■ 消防用資機材の現況

(令和2年4月1日現在)

種 別	機 材 名	数 量	形 式 等
消 火 活 動 器 具	消防用ホース	362	65mm×20m
	消防用ホース	196	50mm×20m
	消防用ホース	23	40mm×20m
	フォグガン	7	
	ダブルコントロールノズル	10	
	ターボディフェンスノズル	22	
	エコファイターノズル	10	
	ガンタイプノズル	6	
	高発泡ノズル	2	
	中発泡ノズル	4	
	低発泡ノズル	11	
	プロパック	3	
	消火活動等 支援器具	発電機	9
投光器		13	
3連はしご		7	
折りたたみはしご		1	
かぎ付きはしご		4	
可搬ウィンチ		1	チルホール
エンジンカッター		5	
チェーンソー		3	
可燃性ガス測定器		4	
空気呼吸器		59	
空気ポンプ		155	
化学防護服(レベルB)		10	
送排風機		2	
熱画像直視装置		2	
山 林 火 災 用 器 具	ジェットシューター	102	
	ウォーターチャージャー	2	
	簡易水槽	3	
放 射 線 測 定 器 具	個人線量計(ポケット線量計)	14	緊急消防援助隊貸与資機材
	中性子用線量率計	1	緊急消防援助隊貸与資機材
	γ線及びX線用線量率計	4	緊急消防援助隊貸与資機材
	表面汚染検査計	2	緊急消防援助隊貸与資機材
	全面マスク	5	緊急消防援助隊貸与資機材
そ の 他 消 防 資 機 材	アナログ携帯無線機	3	
	デジタル携帯無線機	25	
	アナログ可搬型移動局無線機	1	
	デジタル可搬型移動局無線機	3	
	エアテント	2	内1張は緊急消防援助隊貸与資機材
	スモークマシン	2	
	最先着小隊セット	3	

## ■ 消防水利の状況

消防水利は、消防機械・人員とともに消火活動を行う上で欠かせない重要な施設であり、計画的に上水道消火栓の設置はもとより、地震等の災害に対応するためにも均衡のとれた消防水利の配置を目的として防火水槽の新設に努め、消防水利の整備充実を図っています。

また、消防水利を常時使用可能な状態に保つため、定期的に調査点検し機能の確保に努めています。

(令和2年4月1日現在)

地区別 / 区分		市街地・準市街地	その他	計	
消 火 栓	公 設	1,294	802	2,096	
	私 設	146	85	231	
	小 計	1,440	887	2,327	
防 火 水 槽	公 設	100m <sup>3</sup> 以上	6	1	7
		60m <sup>3</sup> 以上 100m <sup>3</sup> 未満	23	36	59
	私 設	40m <sup>3</sup> 以上 60m <sup>3</sup> 未満	163	167	330
		40m <sup>3</sup> 未満	12	35	47
	私 設	40m <sup>3</sup> 以上	66	23	89
		40m <sup>3</sup> 未満	24	6	30
	小 計		294	268	562
そ の 他 の 水 利	河 川	33		33	
	海 湖	75		75	
	プ ー ル	18	10	28	
	井 戸 等	2	7	9	
消防水利の総計		1,862	1,172	3,034	